

平成30年6月28日

平成30年度農村生態工学研究部会 現地研修

開催案内

農村生態工学研究部会では毎年、農村生態系の保全に関する取り組み事例の現地研修を行っています。本年度の現地研修は、近畿農政局亀岡中部農地整備事業所のご協力を得て、環境配慮施設を設置している亀岡中部地区の区画整理施工現場（京都府亀岡市）にて開催いたします。

研修内容

国営亀岡中部地区は、京都府の中部（亀岡市）の一級河川桂川右岸に位置する水田地帯にあります。生産性の高い基盤の形成を通じて担い手への農地利用集積と食料自給率の向上を図ることを目的に、444haの区画整理事業が進んでいます。事業工期は、平成26年度～平成35年度を予定しており、先行する工区では、ナゴヤダルマガエルに配慮したブロックマット工法の水路（皿形水路）、ホトケドジョウ等に配慮したビオトープや双翼型魚道などが設置されています。

現地研修会では、これらの環境配慮施設を見学しながら、設計の考え方や工夫した点、地元の反応などについて、事業所の方から解説を伺う予定です。なお、工事は現在も進められており、タイミングが合えば、完成した施設だけでなく、施工過程が見学できるかもしれません。また、企画セッションの演題の一つ、「PITタグを用いたナゴヤダルマガエルの移動調査事例」の調査地は、本地区内にあります。調査地は工事未着手なので、ナゴヤダルマガエルが高密度に生息する水田環境の状況や、異所放逐個体が元の場所に戻ったという現場を見学していただく予定です。

主催 公益社団法人 農業農村工学会 農村生態工学研究部会

開催日時 平成30年9月7日（金）

9：10（集合：JR 亀岡駅）～12：20（解散：JR 亀岡駅）

※昼食は、解散後に各自お取りください。

開催場所 京都府亀岡市

対象者 農業農村工学会会員、農業土木技術者、多面的機能支払交付金活動組織の構成員、自治体職員、その他農村環境の保全に関心のある方

参加費用 1000円（現地交通費として。集合時に徴収いたします。*学生は無料。）

※集合場所までの交通費及び宿泊される方の宿泊費は各自お支払いください。

参加申込 農村生態工学研究部会事務局まで、メールまたはFAXにてお申込みください。

お申込みの際は、お名前、ご所属、当日つながる電話番号をお知らせください。

※申込み締め切り 7月31日（火） 定員（20名）になり次第、締め切ります。

問合せ先 農村生態工学研究部会事務局 神宮字寛（宮城大学）

電話 022-245-1450 FAX 022-245-1450

E-mail jinguji☆myu.ac.jp（☆を@に換えてください）